

# 令和6年度の運営委員会意見集約

～ 組合員・利用者の声を聞く活動 ～



総合運営委員会

JAでは、地区運営委員会を2月3日から5日までの3日間、営農経済センターごとに6会場で開催しました。2月17日には総合運営委員会を開催し、多くの意見や要望をいただきました。

また、令和6年度は一斉訪問の方法を変え、上期では農家組合長、下期では総代へのヒアリングを実施しました。

今回は、運営委員会が出された質問や意見、要望、一斉訪問でのヒアリング内容を紹介します。

## 地区運営委員会・総合運営委員会での 主な意見・要望

### ◎ 営農・畜産部門関連

**Q** 令和6年産米について、集荷が目標に対して5万袋少ないが、原因は価格だけではない。しっかりとした対策が必要ではないか。

**A** 概算金の決め方、市況の把握ができていなかったことその他、「シン買入方式」の周知の徹底不足が考えられます。令和7年度は、方式の検討が必要で、田植え前に方針を決めたいと考えています。

**Q** 米の概算金の追加払いの交付が遅い。なぜすぐに対応しなかったのか。

**A** 他県が追加払いを行う中で、岩手県も足並みをそろえようと再三、JA全農に要請しました。概算金の決定については、本年度の反省を踏まえ、他業者の情報も得ながら決定できればと考えています。

**Q** 政府の備蓄米放出によって、令和6年産米の本精算への影響はどうか。

**A** 現時点で影響は分かりませんが、JA全農等から情報があればおつなぎします。

**Q** 令和6年9月は、土日に雨が多かった。カントリーエレベーターやライスセンターの月曜

休みを見直してほしい。

**A** 会議などで検討していきます。

**Q** 園芸センターについて、夏場の搬入時間延長を検討してほしいとの声が多い。時間に間に合うようにしていても、その日の数量によって搬入に間に合わないことがある。保冷库がない農家も多く、搬入ができないと品質が低下するため、農家は出荷を諦めている。これが出荷数量を落としている原因にもなっている。

**A** 18時まで搬入を受け入れた場合、その後保冷库に運ぶため、19時～19時30分までかかる事情もあり、担当部署と協議します。

**Q** 園芸センターの利用料が改定されているが、生産者が減れば、当然利用料も減少する。減少した分を利用料の値上げにより、現在残っている生産者が負担しなければならぬ。負担を軽くする取り組みをしてほしい。

**A** 園芸センターの収支改善は、JAの自己努力だけでは難しく、生産部会との話し合いをしながら、園芸センターの



総合運営委員会

集約など業務効率化の取り組みと並行し、JA全農の県南共同集出荷施設の方向性について協議をしています。

◎信用・共済部門関連

**Q** 有価証券の売却について教えてほしい。

**A** このたび処分した有価証券（受益証券）は、低金利の中で収益を上げていくため取り組んだ内容ではありますが、日銀の金融政策変更により金利が上昇したことから、信託期間満了まで保有してもプラスとなる見込みがなく、損失リスクを先送りしないという判断により処分したものとなります。



総合運営委員会

◎経済部門関連

**Q** 他JAでは、資材の販売をコメリなどのホームセンターと提携している事例があるようだが、JAの店舗が少なくなってきたことから、JAの考え方を聞きたい。

**A** 県外では、山形や長野でJAがコメリと提携している事例があります。県内では、JAいわて中央がDCMと提携しています。当JAでも、コメリと協議した経過がありますが、JAと同じ手数料では置けないことから、現時点では提携する予定はありません。予約注文を基本として、低価格で提供していきます。

**Q** 女性部事業について、高齢化が進んでおりJAの協力がないと活動できない。

**A** 女性部等の協力組織は、JAに欠かせないと考えています。質の良い文化活動の機能を発揮していきたいと思えます。



一関地区運営委員会

◎経営・総務・管理部門関連

**Q** 人員について退職者がいるようだが、人事労務について、現状と今後についてどのように考えているのか。

**A** 職場環境を整えて働きやすい職場にしたいと考えています。

その他の主な意見・要望

- 支店等の再編で金融窓口がいつも混雑しているので、窓口の人員を増やすなど対応してほしい。
- 事業計画について、文章に数字を落とし込んだ方が良いのではないか。例えば、担い手支援何件など、具体的な目標数字を掲げた方が分かりやすいし見やすい。

- 一斉訪問のヒアリング内容について、要望等の回答をしていると思うので、この結果を活用してほしい。



千厩地区運営委員会

# 令和6年度一斉訪問ヒアリング内容について (一部抜粋)

## ◎農家組合長ヒアリング内容 (上期一斉訪問について)

### 問1 農家組合運営上の課題

- 高齢化による離農、後継者不足。
- 農家、組合員の減少。
- 若い世代がいない。若い世代との交流が少ない。
- 農家組合として活動できず機能不全となっている。
- あげみち相談会を実施しても人が集まらない。
- 農家組合の統合は考えていない。
- 自治会の統合の話があり、農家組合も付随するのではないか。

### 問2 農家組合で特に力を入れている取り組み、活動等

- 草刈り、側溝、市道等の地域基盤整備。
- さなぶり、収穫祭への参加。懇親会の開催。
- ヘリコプター共同防除。
- 農業機械の共同利用。
- 配布活動兼見守り。

### 問3 JAへの意見要望

- チラシを少なくしてほしい。注文書や配布物が多いが、利用者はほとんどいない。効果がないのではないか。
- 生活経済部関係のチラシは、合併当初より半分以下になっっています。また、農家組合長に取りまとめをお願いする形式を廃止し、JAに直接提出していただいております。需要はそれなりにあります。今後の動向を踏まえ、さらに整理してまいります。
- 支店再編で農家のJA離れが進んでいる。支店、営農経済センターまで遠くなった。
- 金融事業では移動金融店舗車の活用、購買事業では予約購買等により利用者の利便性の維持に努めてまいりますので、ご理解をいただきます。

- 生産資材を値下げしてほしい。
- 生産資材価格は、国際情勢や為替等により高騰、高止まりの状況にあります。肥料・農薬の「担い手直送」「大型規格」による価格対策、予約注文書による物量確保や大型ロットによる発注で価格の抑制を図っています。
- 農家所得向上の取り組みをしてほしい。
- 金融部門では、適切な農業資金コーディネート提案やJAバンク利子補給および保証料助成の周知活動などに取り組んでいます。共済部門では、組合員・利用者の皆さまが不安なく暮らせるよう、「ひと・いえ・くるま・農業」のリスクに対し、ニーズに対応した保障を提供することにより所得向上に取り組めます。
- ATMの設置と継続。
- 新たなATMの設置予定はありません。現状設置のATMにつきましては、ご利用状況を確認しながら営業してまいります。
- 職員が働きやすい環境を求める。
- 役員同士のコミュニケーションを円滑に図り、業務をチームで協同し合う、働きやすい環境を目指してまいります。

## ◎総代ヒアリング内容 (下期一斉訪問について)

### 問1 JA事業や施設の利用状況について

- 共済、貯金、肥料、苗等を利用。
- 機械修理。
- ライスセンターの利用。
- 共済の手続きに支店へ行くのは年1回ほど。
- まんべんなく利用。
- 地域で農業法人に加入しているため、個人での営農施設の利用はなくなりました。
- 女性部活動の参加。

### 問2 JA事業に対する不満や改善点について

- 稲刈りシーズンはカントリーエレベーターを毎日稼働してほしい。

- 再編により施設が遠くなり困る。
- 提出が必要な書面を離れた営農経済センターまで持つていくのが不便。
- ATMがなくなり不便。
- 資材価格が高い。
- 輝倉庫への搬入を午前中にしてほしい。午後は稲が乾くので稲刈りをしたい。
- 農家組合長手当の減額。

### 問3 今後JAに期待すること

- 米の本精算の早期化。
- 「いわて平泉米」の集荷拡大を図り、「シン買入方式」を令和6年度に導入し、令和7年度も継続してまいります。
- 農作物を高く売れるような販売方法を考えてほしい。
- 検討してまいります。
- JAを利用する優位性を出してほしい。
- 独自販売米の拡大、生産資材コストの低減等により、農業者の所得増大・農業生産の拡大を図ってまいります。
- これ以上の施設の再編はやめてほしい。
- 現時点での支店再編計画はありません。
- ハウスリース事業への取り組み。
- 主要品目栽培の施設投資負担の軽減対策として取り組んでいます。ハウス価格の高騰もあり、補助事業の活用と行政支援によるリース料の減額に努めています。建設場所の確定をもって補助事業への申請とすることから、希望者と協議を進めています。
- 農業機械(トラクター、コンバイン等)のレンタルをしてほしい。
- 検討してまいります。

皆さまの声を真摯に受け止め、今後のJA事業運営に努めてまいります。今後ともご協力をよろしくお願いたします。

# 第49回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 岩手県コンクール・全国コンクール入賞作品



第49回「ごはん・お米とわたし」作文・図画岩手県コンクール表彰式ならびに全国表彰伝達式が2月4日、盛岡市のホテルメトロポリタンNEW WINGで行われました。岩手県内の小・中学校から作文60点、図画125点が応募されました。当JA管内の小・中学校からは、作文26点、図画36点が出品され、その中から図画部門で一関東中学校2年の千葉心遥さんの作品が、岩手県知事賞と全国で優秀賞に輝きました。今回の特集では、表彰式の模様と入賞者を紹介します。

入賞者は、前列左3人目から佐々木晴輝さん(弥栄小)、千葉心遥さん(一関東中)、林空我さん(一関小)、林大雅さん(一関小)



水田に映る風景と水見をする祖母の姿が、この作品の中で気に入っているところ。中学生になって初めて岩手県知事賞を受賞でき、祖母も喜んでくれましたし、私自身もとてもうれしく思います。来年度が最後の挑戦になるので、もっと良い作品を作れるよう頑張りたいです。



## 図画部門

◆岩手県知事賞  
◆全国コンクール優秀賞

一関市立一関東中学校 2年 千葉心遥  
「水見半作 祖母の田んぼ」

## 作文部門

## 図画部門

## 作文部門

## 図画部門

◆JA岩手県五連会長賞

一関市立一関小学校 2年 林空我  
「こめ・うまし!」

◆(一社)家の光協会東日本普及文化局長賞

一関市立一関小学校 5年 林大雅  
「名物・もちごぜん」

◆優秀賞

一関市立弥栄小学校 1年 佐々木晴輝  
「かぞくそろっておいしいごはん」  
一関市立藤沢小学校 5年 玉澤璃知佳  
「お米の未来」

◆佳作

一関市立山目小学校 2年 三浦進平  
「ぼくのおしごと米とぎ」  
一関市立瀧沢小学校 5年 橋本悠希  
「美味しいおにぎり『いただきます!』」  
一関市立巖美小学校 6年 伊藤葵  
「家族と一緒に!」  
一関市立萩荘中学校 2年 小野寺一夏  
「お米と私」  
一関市立萩荘中学校 2年 芳賀夢唯

◆佳作

一関市立二関小学校 6年 平沢慶佳  
「未来のための米作り」  
一関市立花泉中学校 1年 阿部凜  
「じいちゃんのみ」  
一関市立磐井中学校 2年 飯島彩芽  
「身近な幸せ」  
一関市立桜町中学校 2年 熊谷音々  
「ごはん・お米とわたし」  
〈敬称略〉

受賞作品は、JA岩手県中央会ホームページでご覧いただけます。  
ホームページURL: <https://www.jaiwate.or.jp/concours/>





# 岩手県産米コンテスト表彰式が開催されました



表彰式に参加した皆さん

令和6年度「至福の味、金色の風」コンテスト、「銀河のしずく」頂上コンテスト、岩手県産ひとめぼれHi-1グランプリ合同表彰式が1月23日、盛岡市のホテルニューカーリーナで開催されました。コンテストには県内から「金色の風」26点、「銀河のしずく」114点が出品され



## 「至福の味、金色の風」コンテスト

- 1位 小野寺 秀一さん (一関)
- 3位 渡邊 克洋さん (一関)
- 入賞 阿部 晋さん (一関)
- 入賞 三浦 誠さん (平泉)

ました。食味計によるスコアや穀粒判別機による整粒の割合を審査し上位10点を決定。お米マイスターや調理の専門家など有識者で構成する審査委員会による食味審査を実施し、順位が決定しました。「至福の味、金色の風」コンテストでは、最高賞の1位に小野寺秀一さん(一関)が、「銀河のしずく」頂上コンテストでは、同じく最高賞の1位に首藤三男さん(大東)が輝きました。今年度で3回目の開催となったひとめぼれ「Hi-1グランプリ」では、旧一関地域が優秀賞を受賞しました。受賞された皆さんおめでとうございます。



## ひとめぼれ「Hi-1グランプリ」

優秀賞 J Aいわて平泉 旧一関地域



## 「銀河のしずく」頂上コンテスト

- 1位 首藤 三男さん (大東)
- 入賞 佐々木 昌彦さん (大東)
- 入賞 千田 康博さん (一関)